

2020年10月27日

研究へのご協力をお願い

東京医科大学八王子医療センター 腎臓病センター腎臓内科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

自然免疫担当細胞に着目した敗血症性急性腎障害の病態解析

[研究の背景と目的]

急性腎障害は生命予後不良の疾患であることが知られていますが、現在のところ特異的な治療法が存在しません。近年の動物実験や細胞実験において、自然免疫という、生体防御の最前線に位置する免疫機構を担当する免疫担当細胞が、急性腎障害の病態において重要な役割を果たす可能性があることがわかってきました。本研究では、敗血症(感染症に対する非常に高度の生体反応)により急性腎障害を合併された患者さんにおいて、自然免疫担当細胞がどのように関与しているか、解析することを目的とします。本研究の結果が明らかになることで、急性腎障害に対する新規治療法の開発につながる可能性も考えられます。

[研究の方法]

対象となる方

当院にて2011年1月1日～2020年12月31日の間に、敗血症性急性腎障害を発症して急性血液浄化療法を受けた患者さん

研究期間

倫理審査承認日から2024年12月31日

利用する検体やカルテ情報

年齢・性別・身長・体重などの患者基本情報や血液・尿・画像検査成績など、通常の診療情報を電子カルテから調査・収集します。さらに、血液・尿検体の検査終了後の残余を使用して、種々の自然免疫担当細胞の陽性比率などを解析します。

検体や情報の管理

本研究におけるデータは、東京医科大学八王子医療センター腎臓病センターにおいて、

研究責任者 内田貴大の責任の下、施錠可能な保管庫に厳重に保管します。情報の保存期間は研究結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日までとします。試料については引き続き厳重に保管いたします。

[研究組織]

研究代表者 東京医科大学八王子医療センター 腎臓病センター腎臓内科助教 内田貴大
研究分担者 東京医科大学八王子医療センター 腎臓病センター腎臓内科教授 尾田高志
研究分担者 東京医科大学八王子医療センター 腎臓病センター腎臓内科講師 山田宗治
研究分担者 東京医科大学八王子医療センター 腎臓病センター腎臓内科
臨床講師 吉川憲子
研究分担者 東京医科大学八王子医療センター 腎臓病センター腎臓内科助教 小島糾
研究分担者 東京医科大学八王子医療センター 腎臓病センター腎臓内科助教 井上暖
研究分担者 東京医科大学八王子医療センター 特定集中治療部教授 蒲原英伸
研究分担者 東京医科大学八王子医療センター 特定集中治療部助教 須田慎吾

[個人情報の取扱い]

調査により得られた情報を取り扱う際は、適用される法令・条例等を遵守し、研究対象者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないよう、研究対象者に符号もしくは番号を付与した対応表を作成します。対応表は研究責任者の内田貴大が鍵の掛るキャビネットに保管し、自施設外に個人を識別することができる情報の持ち出しは行わないよう管理します。本研究結果が公表される場合にも、研究対象者個人を特定できる情報を含まないことといたします。また、本研究の目的以外に、**本研究で得られた情報を利用いたしません。**

[問い合わせ先]

東京医科大学八王子医療センター 腎臓病センター腎臓内科
電話番号 042-665-5611(代表)
担当医師：内田 貴大